巍巍出滄海　煙雲忽第開　青山抱緑水　萬里惠風来

蘭陽平原の守護者～ 亀山島にて

亀山島は宜蘭頭城海岸以東約十キロの沖合いに位置して、海に浮かぶ一匹の大きな亀に見えることから名づけられました。島の大きさは横幅3．3キロ、縦幅1．7キロ、面積がわずか2．85平方キロほどで、亀山に関わる歴史資料はあまり残ってはいませんが、ただ「険崖島」という地形の険悪さを例えて言う異名で呼ばれていたことが分かっています。島の人口は最高700人ぐらいまで栄えたことがありましたが、のちに生活上の貧しさのためすべての住民が頭城亀山里に遷移しました。1977年、軍事管制区と宣告され、国防部の支配下におさめられてから、20余年封印される歳月を経て、2000年に観光地として開放されるようになりました。

海上神亀の多彩な風貌～ 亀山八景

亀山島は清朝の時代から「亀山朝日」、「亀島磺煙」、「亀岩巉壁」、「亀卵観奇」、「神亀擺尾」、「神亀戴帽」、「眼鏡洞鍾乳石奇観」、「海底温泉湧上流」などといった八大奇景で名を知られており、今日もなお「亀山朝日」は蘭陽八景の首位を占めています。

亀山島 観光情報

東北角暨宜蘭海岸國家風景區管理處
Northeast and Yilan Coast National Scenic Area Administration
交通部観光局東北角及び宜蘭海岸国家風致地域管理所
所在地：新北市貢寮区福隆里興隆街36号
Tel：02-2499-1115　Fax：02-2499-1170
Website：http://www.necoast-nsa.gov.tw
E-mail：su01@necoast-nsa.gov.tw
フリーダイヤル：0800-091-115
消費者保護ホットライン：1950
ツーリストのお問い合わせはこちら：0800-011-765
（日・英語サービスもあります）
台湾観光バス：http://www.taiwantourbus.com.tw
99.12.10,000

亀山島観光情報

卵石、毛柿、弧島の風華～ 亀山島生態の旅

海の中に孤立し独特な地形に長年の間封じられたため、ここならではの自然生態が豊かです。たとえば大笨蝶（反応が鈍い蝶）、台湾で分布の北限である柿の一種である「毛柿」、自生性の「蒲葵林（クバの林）」、山を真っ白に染めるほど盛んに咲く「野百合（野生のゆり）」などなどが見られます。さあ自然の豊かさを感じる生態の旅へ！

スポット１：北岸碼頭、南岸碼頭（５分）

ここが亀山島の出入り口で、以前は南岸碼頭（埠頭）しかありませんでした。２００３年６月に北岸碼頭の現在地にて波止場の新築を始めました。スチールフレーム構造の橋で、陸に接続する設計で橋の下の海流と亀卵石通道を確保する一方、荒波をうまく逃すことで土台を守る設計がなされ、実用と美観を両立させた設計者の名案と言われています。

スポット２：亀山島遊客服務センター（20分）

ここには解説サービス、オンタイムでの海面状況の情報提供をしています。フィルム室では不定時的に「亀嶼郷情」を上映しています。「亀山八景」の写真展覧室もあります。

スポット３：普陀巖（10分）

元は「拱蘭宮」と呼ばれて、いわゆる蘭陽平原の守護者でした。最初ここに納められていたのは神像ではなく一枚のお賽銭袋だけでした。その後、住民がみな漁家のため媽祖（天上の聖母）を祭ることになり、さらに軍が進駐するようになったころから、観世音菩薩（観音様）を祭るようになり、普陀巖と改名されました。

スポット４：毛柿歩道（20分）

歩道に「毛柿」の木が一本立っています。昔は赤ちゃんが生まれた時、親が子を連れて「水米」を参詣し、毛柿公（毛柿の木霊）を「養い親」として供養して、子供が毛柿公の加護を得て順調平安に育つことを祈願しました。木の傍に漁港開鑿記念碑（１９３９年設置）が立っていて、高所の観景平台から俯瞰すれば、亀尾の全貌をはっきりと眺められます。

スポット５：環湖歩道（30分）

歩道は全長が約６５０メートルで、閑静できれいな亀尾湖の湖畔を沿って建てられました。途中の自然生態の豊かさを十分楽しめます。厳粛だが慈愛にみちた顔つきをする観音像を見つめて、まるで故郷で帰省する子の帰りを待ちつづける母の姿に見えます。ここで少し足を止めて、孤島で駐在した兵士の客懐と郷愁を味わってください。

スポット６：軍事トンネル

軍事トンネルは全長が８００メートルで、主トンネルの高さが３．５メートル、広さが３メートルあり、中には９０高砲、機関銃陣地などといった軍事施設が数多くあります。ここの規模は金門翟山トンネルや馬祖八八トンネルに比べても遜色ありません。金門や馬祖の前線戦地まで行かなくとも、戦地トンネルの状況をまのあたりにすることができます。

スポット７：亀山島人文生態展示館（25分）

亀山島は豊かな生態と地質で知られていますが、それを理解するにはわずか数時間の観覧では難しいかもしれません。当地の生態の知識を深めたい方は普陀巖の旧町の亀山島人文生態展示館へどうぞ。亀山島の多様な地質景観、独特な生態物類に加え、今までの人文歴史などを観覧することで、この島への認識をもっと深めることができます。

学術と生態見学～401高地歩道系統

亀山の施設は以上のコース以外に、また401高地歩道へ繋がる二本の「生態遊歩道」があります。北岸登山歩道は全長が２８００メートルほどで、もう一本の４０１遊歩道は１４００メートルです。途中の景観は多彩で、生態観察に好適な場所で、まして頂上に上がると亀山島の全貌を見晴らすことができます。

亀山島に棲むタイワンオオコウモリ

民国95年（西暦2006）、亀山島の谷の中に棲んでいる小規模なコロニーが発見されたタイワンオオコウモリは、30種あまりの台湾コウモリの中で一番大きいなので、翼展は80~100センチもあります。木の上に生息し、果実や花の蜜や若葉などを食べます。主に緑島に分布していたが、乱獲で大量消失し、絶滅危惧種となっています。今やタイワンオオコウモリの大事な生息地となったので、是非とも亀山島の自然環境の保存にご協力をお願い申し上げます。

亀山島への行き方
交通情報に登島申し込みの手数き

◆交通情報

亀山島へは烏石港を経由する。烏石港へのルート：

１．台北方面から出発する：

（１）濱海公路-２号省道を宜蘭方面へ向かい、北関に入ったら烏石港に到着。

（２）北宜公路-９号省道を通り、二城で左折し１９１県道に入り、頂埔通過したら２号省道に入って烏石港に到着。

２．花東方面から北上する：蘇花公路から濱海公路に入って、頭城方面へ向かう。

３．電車とバス

（１）台鐵宜蘭幹線に乗り、頭城で下車。送迎バスで烏石港へ。

（２）台北から國光客運の宜蘭行きあるいは花蓮行きの便に乗り、烏石港駅で下車。

◆登島申し込みの手数き

インターネットによる申し込み：毎日午前8時から午後10時まで。
当管理所ホームページの指示にしたがって入力してください。
申し込みの手順：
1.ホームページ→右の「登島申請去」→オンライン申し込み
2.ホームページ→右の「亀山島」→オンライン申し込み
東北角管理處ホームページ：http://www.necoast-nsa.gov.tw

◆交通船の情報

漁船名	船主の名前	船主の電話番号
龜山朝日	頭城區漁會	03-978-2511#404または405　0936-096-155
龜山朝日２	頭城區漁會	03-978-2511#404または405　0936-096-155
華棋168	林棋山	0955-037-996　0937-163-916
宏棋	陳宏棋	0910-259-275
超級星3號	簡明義	0972-507-888　0938-630-771
北極星１	魏春亮	0939-310-369
蘭鯨	吳政良	03-978-1865　0912-593-213
凱鯨	游國照	0935-760-766　0910-259-271
新福豐168	簡陳春鳳	0920-899-966
噶瑪蘭	莊明池	0927-726-562　0919-283-107
大發２	盧澤溥	0937-453-919
新福豐36	簡俊男	0910-059-715　0932-263-019
柏薰號	陳姿吟	0910-145-336　0935-618-258

補足説明：１．渡航料金の問い合わせは各船主に
２．宜蘭県政府：http//www.e-land.gov.tw/
頭城區漁會：http//www.etcfa.org.tw/

他のお勧めコース

東北角には亀山島のほか面白いところがある。

●亀山島を島周り＋ホエールウォッチング→梗枋でランチ→北關海潮公園→龍門キャンピング場から鹽寮海濱公園までサイクリングができます。

●亀山島一周＋ホエールウォッチング→福隆ツーリストサービスセンター（紹介フィルム、彫刻、展覧室）→シーフード料理（鼻頭、龍洞、澳底あるいは福隆）→龍洞湾岬から鼻頭角への歩道をハイキング

●亀山島一周＋ホエールウォッチング→大渓あるいは梗枋でランチ→石城サービスエリアでコーヒー→福隆ツーリストサービスセンター（紹介フィルム、彫刻、陳列室）→龍洞四季湾あるいは鼻頭龍洞地質公園で浜遊び

●亀山島一周＋ホエールウォッチング→北関農場あるいは頭城農場で田園生活を体験→礁溪で温泉の旅